

コーポレート・ガバナンス 社外取締役メッセージ ▶ コンプライアンス・リスク管理

コンプライアンス・リスク管理

基本的な考え方

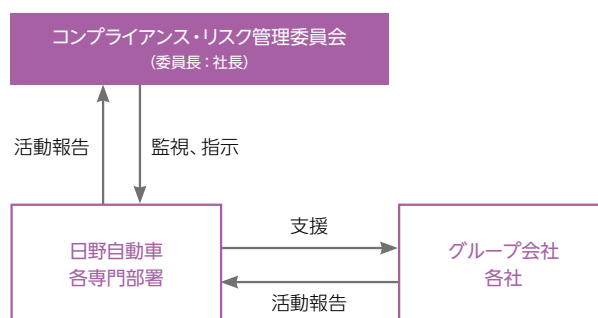
日野自動車は、各種CSR取り組みを推進するにあたり、ステークホルダーの皆さまから信頼・共感を得られるよう行動することが重要であると考えています。そのうえで『コンプライアンス』について、「法令順守はもとより、倫理的な行動や、社会からの期待に沿った適切な行動をとること」と捉え、その徹底を重要な経営課題としています。

また「リスクの予防およびリスク発生時の被害・損害の最小化」という『リスク管理』の基本方針のもと、企業経営上の重要リスクを洗い出し、必要に応じた対策にも取り組んでいます。

この二つの考え方、方針に基づき、日野自動車は法令順守、倫理性の維持・向上を徹底し、ステークホルダーの皆さまから「信頼され続ける企業」を目指します。

コンプライアンス・リスク管理推進体制

社長をトップに各役員から構成される「コンプライアンス・リスク管理委員会」を設置して、企業倫理、コンプライアンスおよびリスク管理に関する活動監視や指示をおこなう一方で、グループ会社のコンプライアンス・リスク管理の支援などもおこなっています。



社員へのコンプライアンス啓発活動

日野自動車は、社員一人ひとりのコンプライアンス意識の醸成を図るべく、社員教育のカリキュラムにコンプライアンス研修を導入しています。この研修のツールとしては、各ステークホルダーの皆さまに対するCSRコミットメントである「CSRメッセージ」、社員一人ひとりがとるべき行動の判断基準を明確にした「日野行動指針」、日常業務において発生しうるさまざまなケースを想定し、具体的な対処方法なども解説した「コンプライアンス ガイドブック」などがあり、すべての社員に冊子などで配布し、社内イントラネットでも常時閲覧可能にするなど、社内周知徹底を図っています。

今後も、コンプライアンス意識の高い人財を育成すべく、研修内容のさらなる充実に努めていきます。

「CSRメッセージ」はこちら

「日野行動指針」はこちら

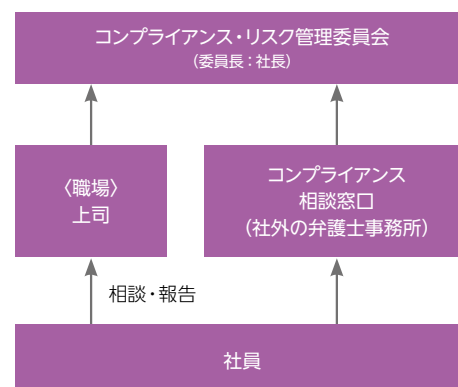
コーポレート・ガバナンス 社外取締役メッセージ ▶ コンプライアンス・リスク管理

内部通報制度によるコンプライアンス問題の未然防止、早期解決

日野自動車・国内グループ会社では、社員のコンプライアンスに関する相談を受け付け、客観的な視点で早期解決を図るべく、内部通報制度を運用しています。この制度では、社外の弁護士事務所ご協力のもとでコンプライアンス相談窓口を設置し、職場に相談しにくい案件も随時相談を受け付けるなど、“相談しやすい”体制整備も心掛けています。

2018年度に寄せられた報告や相談は、グループ会社の相談も含め、125件ありましたが、そのすべてに対し、即時対策をおこなうなど、適切に対応しました。今後もこの制度の適正運用を図ることで、日野自動車はコンプライアンス問題の未然防止、早期解決を図っていきます。

● 内部通報制度における相談・報告の流れ



グローバル内部通報制度“HINO Global Compliance Hotline”の導入

日野自動車では、国内に加え、新たに海外グループ会社のコンプライアンスに関する相談を受け付ける統一の窓口「HINO Global Compliance Hotline」を導入しました。

これら国内外含めたグローバルな内部通報制度の適正運用を通じ、さらなるコンプライアンス促進に努めていきます。

重要リスクの洗い出し・管理

日野自動車は法令や経営環境の変化を踏まえて、定期的に重要リスクの洗い出しをおこなっています。洗い出したリスクについては、「コンプライアンス・リスク管理委員会」にて管理をおこなっています(当該リスク発生防止対策、および発生した際の影響低減・再発防止対策の策定など)。

なお、重要リスク管理の事例については、以下をご参照ください。

◆ 災害への備え

日野自動車では、大規模災害発生を想定し、人命を最優先に考えた訓練などの活動をおこなっています。

特に2011年に発生した東日本大震災以降は、より実践的な活動として、当時の経験も踏まえた消火訓練や避難訓練などに取り組み、自衛消防力のレベルアップを図っています。



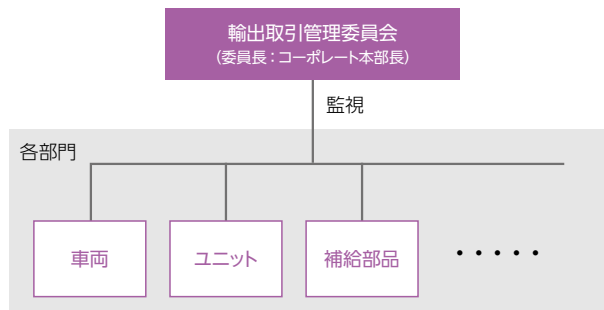
消火訓練の様子

コーポレート・ガバナンス 社外取締役メッセージ ▶ コンプライアンス・リスク管理

◆輸出取引管理

日野自動車は国際平和・安全の維持を目指し、輸出した車両、ユニット等が武器に転用されるリスクを防ぐための輸出取引管理を徹底しています。

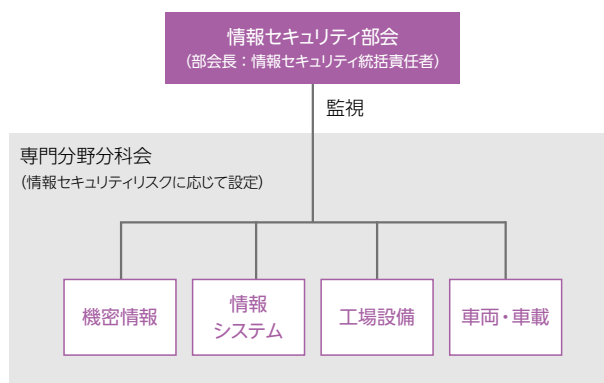
各部門で厳格な順法確認をおこない、それらの管理状況は「輸出取引管理委員会」で監視することで、全社で各種法令に則った輸出取引をおこなっています。



◆情報セキュリティ管理

日野自動車は、サイバー攻撃などの脅威から、個人情報などのお客様、社員の財産を守ることを社会的責務としてとらえ、情報セキュリティに関する取り組み強化を図っています。

2017年9月には、情報セキュリティに関する考え方などをまとめた「情報セキュリティ基本方針」を定め、各分科会でその方針に沿ったリスク管理をおこなっています。さらに、それぞれの分科会のリスク管理状況は「情報セキュリティ部会」で監視することで、全社の情報セキュリティに関する管理徹底に努めています。



2018年度からは、社内の情報資産を機密性、完全性、可用性の重要度でランク付けし、リスク評価をおこない、重要な情報資産には多層防御を図る考え方で対策に取り組みリスクの低減を進めています。

国内外グループ会社においても「情報セキュリティ基本方針」に沿った対策を推進しており、年1回各社対応状況を点検し、情報セキュリティの継続的な維持・向上に努めています。また、インシデント対応についてはグループ内連絡網を設け、事前防御と有事の迅速な対応体制を整えています。

 「情報セキュリティ基本方針」はこちら

今後の取り組み

日野自動車が今後も事業を通じてお客様や社会に貢献し続けるためには、「信頼され続ける企業」であることが必要です。

今後もコンプライアンス・リスク管理に対する「チーム日野」一人ひとりの意識醸成に努め、法令順守、倫理性の維持・向上を徹底していきます。